



【無党派・無所属】大府市議会議員 たかばとくこの活動報告

TOKUKO Report

2017. 夏号

発行 鷹羽 登久子 後援会

〒474-0011 大府市横根町羽根山 203-102

TEL 090-4776-5282

メールアドレス teamtokuko@yahoo.co.jp

ホームページ <http://teamtokuko.jimdo.com>

<https://www.facebook.com/TakabaTokuko>

厳しい暑さが続いています。みなさまいかがお過ごしでしょうか？ この夏は各地で短時間豪雨が起り、心配事が尽きないところです。

3月以降のお仕事の中から、ピックアップしてレポートします。

6月一般質問

JRの利便性を強みとした都市戦略を！

公共交通を強くすることは、大府市の立地だからこそ必要

JRで通勤通学し、平日はマイカーを使わない生活をする人も増えています。また、年齢を重ねて免許返納する人や、若い世代ではマイカーを持つことが難しい経済状態の人、今後増えるのではないのでしょうか。

公共交通環境の整備について

【問】利用者の安全のため、駅にホームドアを設置するようJRに要望しては？

【答】国土交通省が優先して設置していく1日あたり利用者数の目安は10万人以上。大府駅は2万6千人、共和駅は1万6千人なので、要望することは考えていない。

【問】近隣で設置されている所で、利用者数10万に満たない駅もあるのでは？

【答】利用者数以外に、費用負担がかかること、現状のホームに設置スペースがあるか、停車時間が長くなる、などの課題がある。

【問】駅を結節点とした交通網の整備について、大府駅、共和駅を発着点とした新ルートを検討中とのこと。時期はいつになる？

【答】平成31年秋頃を考えている。



人口だけがまちの活気のバロメーターではありませんが、近隣では豊明市、東浦町、知多市さんなど、減り始めているところもあります。ここに住み暮らすといいね！と思うことができる、付加価値をどうつけていくか。強みを伸ばすのは、その一歩だと思えます。

人口が増えているのは全国的に珍しい？これからも増え続ける？

6月一般質問

大府市の宅地整備はひと段落。これまでのようには増えない。

平成27年国勢調査の結果が、昨年より順次、より詳細に発表されつつあります。人口、年齢だけでなく、転入者はどこから来たか、市の中でも更に細かく町単位でも、過去と比較した分析が可能となっています。

大府市は人口が増えている！全国的に減っているのにすごい！…本当にそうでしょうか？
国勢調査の概要によると

- ・全国1, 719市町村のうち303市町村で増加＝17.6%の市町村で増えている
 - ・愛知県内では、54市町村のうち32市町で増加＝半数以上の自治体で増えている
 - ・東京、福岡、名古屋の大都市圏は増加しているが、愛知県としては過去最低の伸び率
- …人口集中エリアにある市としては、別に珍しいことではないのです。

子育て支援、働く場の確保、住環境の整備によって増えた、と市は考えているとのこと。

【問】5年前、10年前の大府市の姿と比較してどうか？また、転入の状況は？

【答】区画整理が進んできた地区、宅地開発や大型マンションなどのある地区で増えている。転入の6割が県内から。県内で住み良いまちと周知されたものと思う。

【問】住環境が整った地区で増えてきたとのことだが、今後の住環境の取組は？

【答】今後10年間と過去10年の区画整理面積比較では1/3～1/4程度しか大規模な住宅用地が提供できない。小規模な開発や空家、空地の活用を促していきたい。

質問を通して、とくこはこのように考えます。

- ① 県内の転入が多い = 働く場を変えずに、それ以外の要素で大府市が選ばれている
 - ② 空家空地も宅地に活用 = 眠らせておかずに活用したくなる環境整備が必要
- 私は、②に関してすでに、26年12月の一般質問で、住宅ストック活用の必要性を指摘しています。

12月、2月に相次いだ大規模火災。大府では心配ない？

12月に新潟県糸魚川市で大規模火災が発生しました。密集市街地だったこと、強風があったことなどから、147棟が焼損し鎮火まで約30時間かかりました。2月には埼玉県三芳町で大型物流倉庫火災が発生。12日目に消し止めたものの、煙など周辺地域にも影響が及んだといえます。

大規模火災は、専門家が検証し、同様のことが起きないように対策をまとめるまでに時間がかかるものではありませんが、密集市街地や物流倉庫は、大府市でも当てはまる面があります。直後からどう対応したか、身の回りの火災リスクはどうかを問いました。

【問】住宅が密集する中でも、特に消火活動に手間取る危険度の高い所は？

【答】1ヘクタールあたり住宅が80戸以上あり、木造住宅の割合が2/3以上、幅4メートル未満の道路に面して避難が難しい所、として独自の基準を定め、市内10地区を密集地としている。

【問】1万平方メートルを超える倉庫は6施設とのことだが、それ未満の物流倉庫の状況は？住宅と近接して建っているところはあるか？

【答】作業場を含めて1000平方メートル以上のものは45施設ある。工業団地だけでなく、民家に近接しているものもある。

【問】太陽光発電システムの火災リスクは？一般住宅に設置しているものもリスクはあるか？

【答】高圧電流が流れる設備であり、消火活動において放水に工夫したり、事後処理でも触れることがないよう、感電防止に注意が必要。家庭用のものも、市内ではないが、パワーコンディショナーから火災が発生する事例がある。

身の回りの火災リスク、他の災害と同じように「自分の身は自分で守る」

近くで火事があったら、通報する→消防車が消火活動を始めると、安心してしまっていないでしょうか。どのようなはずみで、煙や火の粉が自分に及ぶかはわかりません。風向きが変わったら、なかなか消し止められなかったら、いざとなったら避難の準備と心構えをしておくことも大切です。市民への啓発は、火災予防が重視されてきました。近くに密集地の有無、太陽光パネルがある建物は消火に手間取る、など、身の回りの危険度を周知しておくことも必要なのでは、と提言しました。

調査・研究活動

東日本大震災、原発被災地と津波被災地の今

7月1日～2日にかけて、福島県いわき市から相馬市にかけての沿岸部を巡りました。



今も立ち入りできない原発被災地では、避難時に置いて行った車や、風化して傷んできた家、猪に荒らされた家が、伸びた草木に覆われていました。津波被災地では、大規模な堤防工事が行われていました。

写真レポートは「201707 福島の今【いわき～相馬】」
<https://togetter.com/li/1126984> にまとめました。生業を営みその地で暮らすということ、行政

の存在と責任、決定する議会の責任、を考えさせられました。(写真は大熊町大野駅付近、避難した時のまま草が茂り始めた無人の商店街です)

手話言語条例を学ぶ

愛知県では昨年10月に「手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」ができました。4月に知多地区聴覚障害者協会による手話言語条例の勉強会に参加し、当事者視点からの、様々なお話を伺いました。

hearing

まちオープンミーティング やります

今回から、テーマを決めてやってみます。
テーマその1「災害の備え、災害があったら」
テーマその2「子ども、子育て」

8月27日(日) 午後2時～4時
文化交流の杜 allobu 会議室2

気楽に気軽にお越しください。
とくこから、話題提供をします。
思っていること、気になっていること、聞いてほしいこと、
お聞かせください。お話ししましょう。